葦毛通信（いもう）

ヤマラッキョウ

平成31年3月13日
豊橋市文化財センター
豊橋市松葉町3丁目1
TEL：0532-56-6060
No. 78

1、バックホーによる作業ー3（P地点作業報告－1）

Ｐ地点は森になっていたところです。西側と南西側はN地点と接しており、森の林縁部にあたります。南東側はM地点と接しており、地形は上流に向かって高くなっています。下写真左はＰ地点の中央部で木の抜根を行っています。地山は基本的に礫層なので、木の根は地下に伸びず、地表面を這うように広がっています。根に抱き込まれた土は茶色く乾燥しており草地として復元されると予想しています。

下写真右はＦ地点の旧水田部分で木の抜根とネザサの根の層を除去しているところです。旧水田部分は耕作土が残っており、柔らかい泥質の土が厚く堆積しています。手前には枯れたガマが見えます。

Ｐ地点抜根作業（南から：2019年2月5日）

Ｆ地点旧水田部分の抜根作業（東から）

右写真はM地点のミズゴケを除去しているところです。ミズゴケは厚いところで40㎝程あり、ネザサが侵出していました。ミズゴケは水量が多いところに分布していますが、剥ぎ取った後を観察すると水量はかなり少なく、礫面になりましたが、水が地表面に現れることはありませんでした。剥ぎ取ったミズゴケは湿生植物の発芽を確認するために湿地周辺部に積み上げてあります。この２か月ほどほとんど雨が降っていません。雨が降れば水量が増し、湿地らしくなると思います。次号でＰ・M地点の作業の続きを報告します。

M地点ミズゴケ除去作業（2019年2月7日）

ミズゴケの堆積状況

2、2018 年のナガバノイシモチソウ－2

１）自生個体数の変化

2018 年のナガバノイシモチソウは今年も個体数や開花数が順調に増えました。個体数は、毎年７月末日前後を基準日としていますが 11,487 個体になり、今年は前年の２倍にはなりませんでしたが、**平成 23 年度の約 40 倍**になりました。その後も個体数は順調に増え、９月５日には、12,089 個体になりました。観察回数は 116 回で昨年よりもかなり増えました。

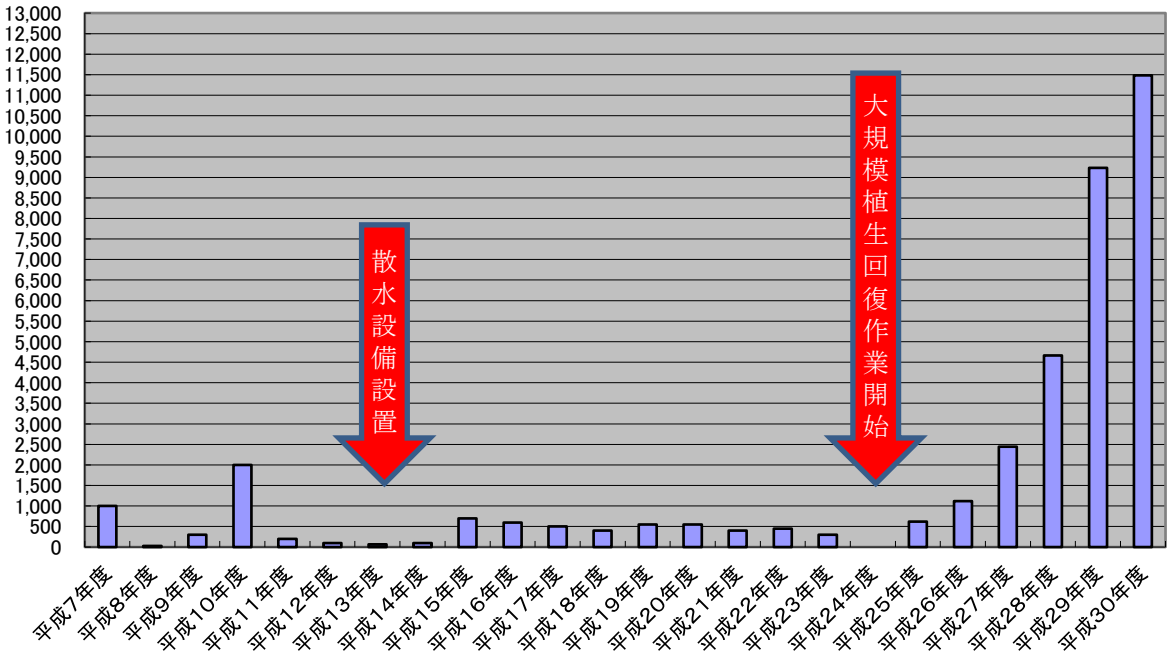
現時点で個体数の増加は右肩上がりで増えています。今後も増加が続くと予想できます。しかし、いずれ増加率は徐々に減少して個体数は飽和状態になり、以後は増減を繰り返しながら推移すると思われます。また、指定地内全体の自生状況からは、最終的に自生数は少なくとも 100 倍（30,000 個体）程度までは増加すると予想しています。

自生個体数、最高・平均開花数一覧

年　度	自生 個体数	最高 開花数	平均 開花数
平成 23 年度	300 個体	135 輪	35 輪
平成 24 年度	推定 300 個体	145 輪	55 輪
平成 25 年度	622 個体	170 輪	73 輪
平成 26 年度	1,120 個体	374 輪	116 輪
平成 27 年度	2,444 個体	471 輪	144 輪
平成 28 年度	4.664 個体	817 輪	307 輪
平成 29 年度	9,233 個体	1,436 輪	587 輪
平成 30 年度	11,487 個体	4,320 輪	1,169 輪

＊平成 24 年度は自生個体数の記録なし

ナガバノイシモチソウ自生個体数の変化(基準日:7月末)

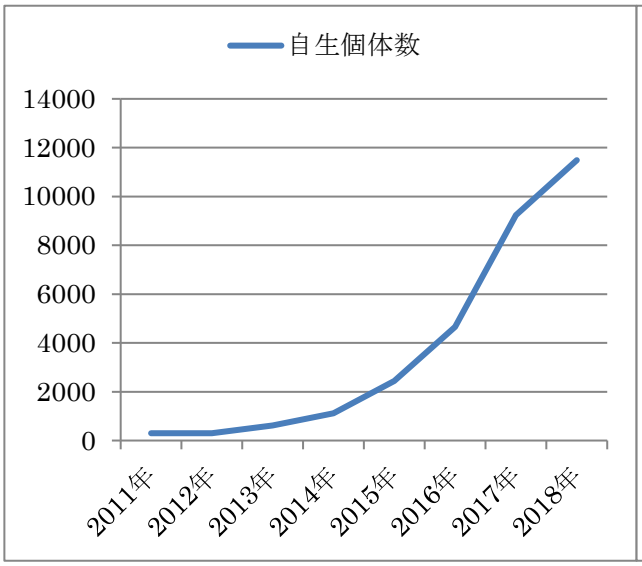


２）開花数の変化

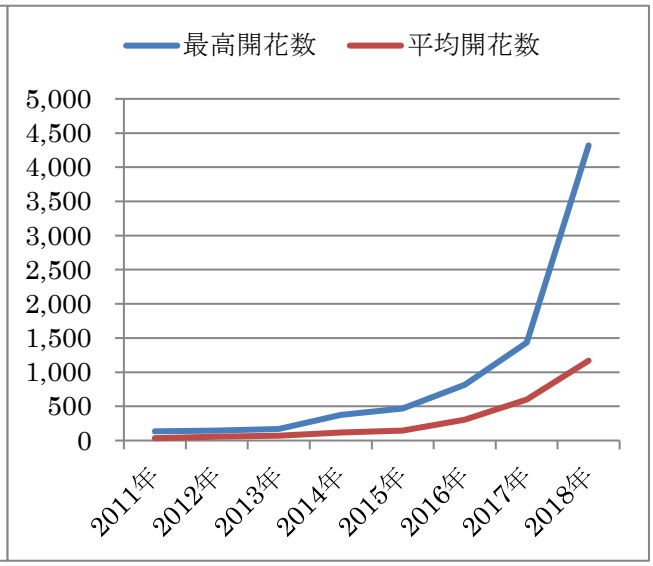
今年はナガバノイシモチソウの開花数が急激に増加しました。これまで開花数の増加率

は個体数の増加よりも低くなっていました。大規模植生回復作業を開始した平成 24 年度には、最高開花数が 145 輪、平均開花数が 55 輪でしたが、平成 30 年度には最高開花数が 4,320 輪、平均開花数が 1,169 輪になり、最高開花数は**約 30 倍**に、平均開花数は**約 20 倍**になりました。

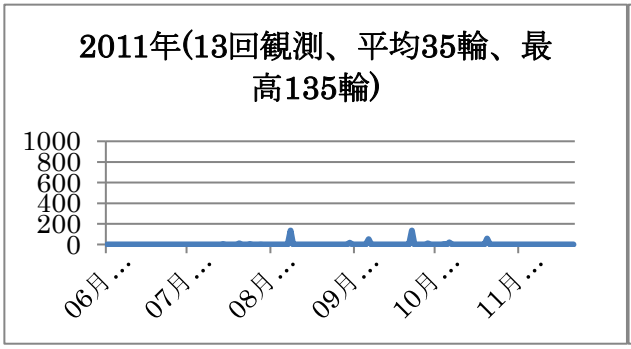
自生個体数の変化

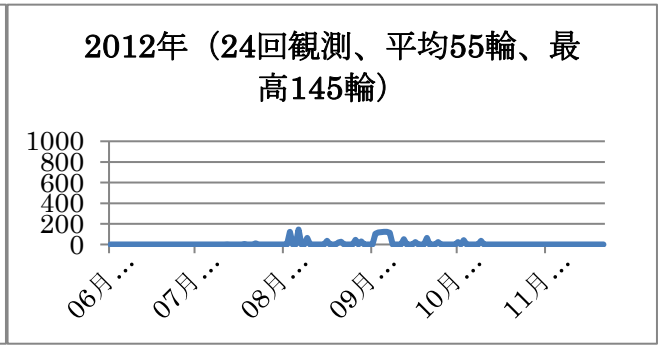


最高・平均開花数の変化

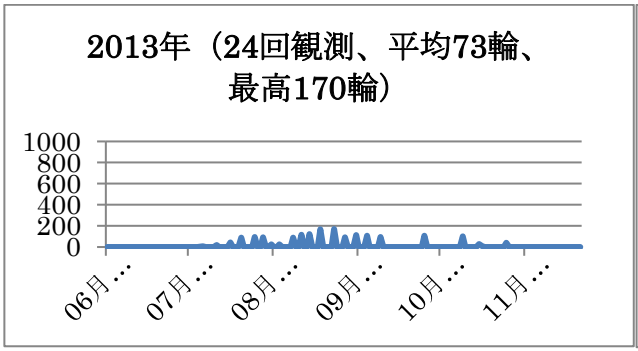


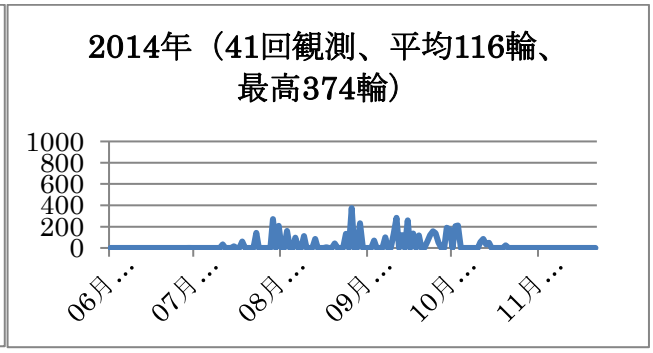
2011・2012 年日別開花数



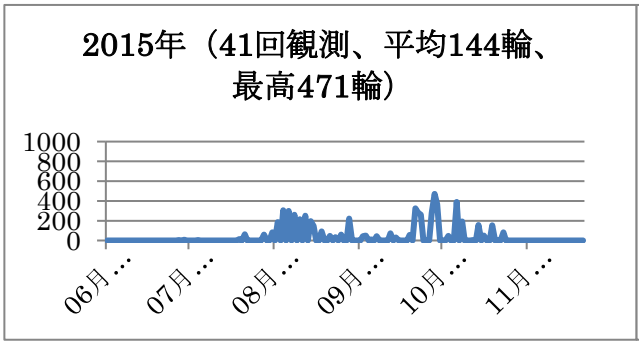


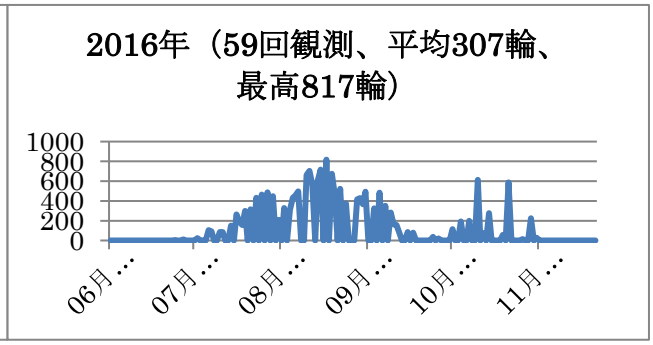
2013・2014 年日別開花数



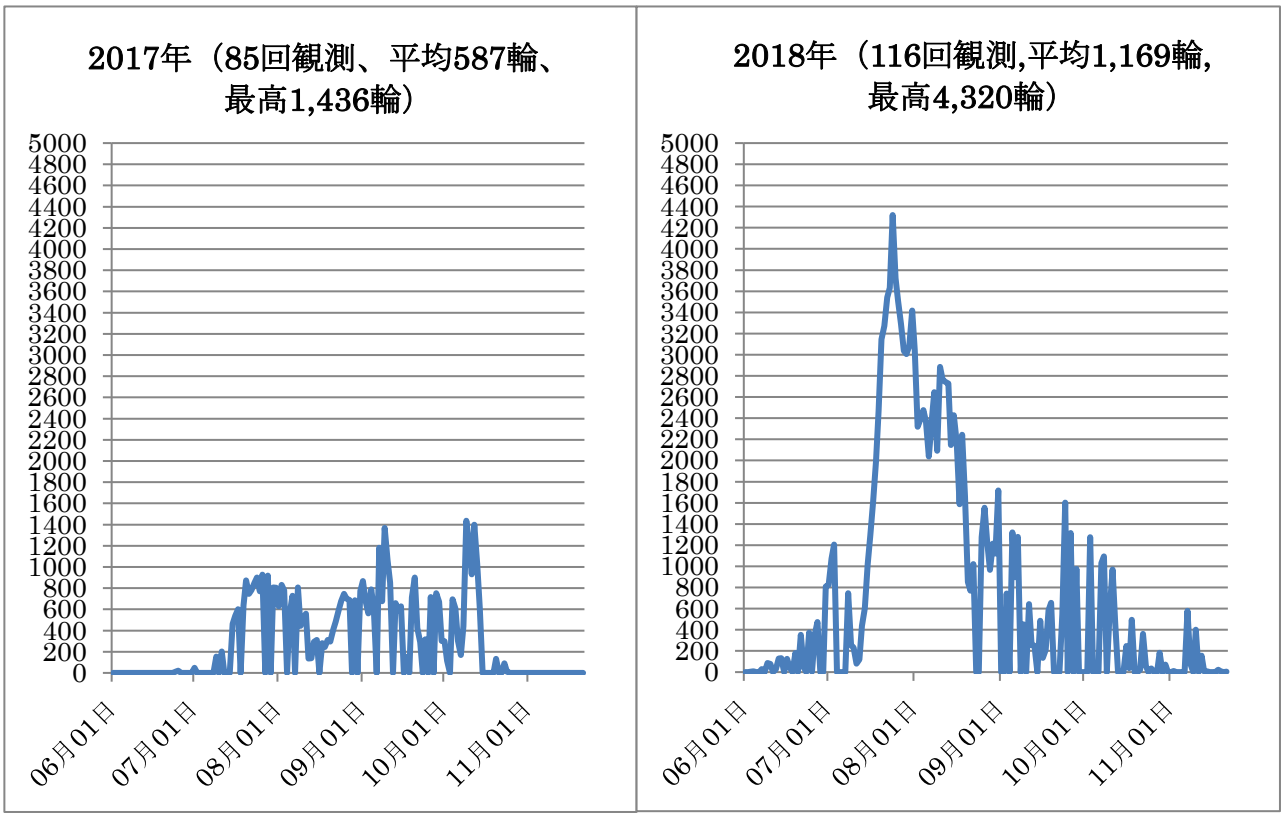


2015・2016 年日別開花数





2017・2018 年日別開花数



各年の日別開花数は一定ではなく、ピークがいくつも現れるという同様の傾向を示しています。しかもそのピークの出現時期や回数は各年によって異なっています。年間の開花傾向も 2011 年から 2015 年までは増えてはいましたが、増加は緩やかでした。2016 年からは増加率が上がり、2018 年は前年の２倍以上に増えました。また、2018 年は開花期間も６月３日から 11 月 21 日までと、開花の開始が 20 日程度早まり、開花の終了も 20 日程遅くなりました。来年の自生数や開花数がどのように変化するのか予測し難い点もありますが、少なくともまだ増加傾向にあると判断しています。観察会にも多くの方が参加していただけるようになりました。

ナガバノイシモチソウ観察会（2018 年 8 月 19 日）

ナガバノイシモチソウ